

R6の方向性

○ 鉄道利用の気運醸成と利用促進への支援

高校生等の通学、沿線企業従業員の通勤などの日常利用促進や、地域住民が主体となった駅周辺の賑わいづくりに対する支援を通じて、鉄道利用の気運醸成と継続した利用促進につなげる。

○ イベント等の連携・情報発信等協力体制の強化

各団体が実施するイベント等での相互連携、他の団体の取組とのコラボ、チラシの配布、記者発表等の協力体制を強化する。

○ 加古川線全線開業100周年を契機とした利用促進策の展開

特に、令和6年度は加古川線全線開業100周年の節目であることから、各団体が行う事業に、「ありがとう&おめでとう加古川線全線開業100周年」のキャッチフレーズを掲げ、JRと連携して、さらなる利用促進を図る。

R6の総括

○ 鉄道利用の気運醸成と利用促進への支援

- 沿線住民が中心となり「JR加古川線(西脇市駅－谷川駅)維持・利用促進地域協議会」(地域協議会)が発足されるなど、路線の維持に向けた気運が高まっている。
- 日常利用促進に向けた「通学定期券購入補助事業」(61名)、新規事業の「社会学習利用助成」(420名)、「団体利用助成」(379名)では、多くの方に利用していただき、鉄道利用がさらに促進された。
- 引き続き、鉄道利用の気運醸成や助成制度の充実、地域と連携した地域住民が主体となった賑わいづくりを進めていく。

○ イベント等の連携・情報発信等協力体制の強化

- JR加古川線リレーマルシェ等駅周辺イベントでは、地元自治会や地域協議会、沿線高校等と連携して開催した。
- 沿線地域の様々な団体と相互連携し、イベントを開催することで、多くの方に参加いただき、利用促進につながった。引き続き、連携、協力体制のもと事業を実施していく。(イベント日数7日間、イベント参加総人数 約8,200人、加古川線利用者数 約700人)

○ 加古川線全線開業100周年を契機とした利用促進策の展開

- 7月7日に記念セレモニーや六角精児さんのライブ&トークショー、ラッピング列車の運行を開始。また、12月27日に谷川駅で斎藤雪乃さんの一日駅長等の100周年記念イベントを開催。さらに、100周年特設サイトやメッセージ動画を作成するなど、利用促進事業を実施した。
- JR西日本と行政機関等が連携して実施した100周年記念事業で、加古川線のことを広く周知することができた。これを契機に、引き続き、JR加古川線(西脇市～谷川間)の情報発信、気運醸成を行っていく。

1 JR加古川線（西脇市駅－谷川駅）維持・利用促進地域協議会の発足(新)

日常利用の促進

観光需要の増加

【概要】

事業内容 沿線地域住民が中心となり、住民への鉄道利用の呼びかけ、鉄道利用促進事業等を行う地域組織を発足

実施主体 JR加古川線(西脇市駅－谷川駅)維持・利用促進地域協議会
 構成：黒田庄まちづくり協議会、比延地区自治協議会、久下自治振興会
 (R6予算・1,000千円〔西脇市：丹波市＝1：1〕)



横断幕

実施結果 6/30 設立会の開催、8/20 横断幕の作成、JR加古川線リレーマルシェ(8/22 久下村夜市、11/3比也野まつり、3/7久下村夜市) 出店、11/24「あつまっ亭感謝祭」の開催、JR加古川線利用啓発チラシの作成・配布等

【成果・課題】 組織設立を契機に地元への利用促進活動を推進した。沿線の交通要所など9カ所に鉄道利用を呼び掛ける横断幕を掲出するとともに、各地域において鉄道利用促進イベントを実施。沿線住民の意識醸成につながる継続した活動・取組が必要。

【今後の展開】 構成する3地域の相互連携を深め、継続的に住民への呼びかけや利用促進に係る取組を進めていく。

2 通学定期券購入補助と通学定期券購入者自転車貸出事業（拡）

日常利用の促進

【概要】

事業内容

- ①定期券購入補助（実施主体：西脇市、丹波市 R6予算額：1,582千円）
通学定期券を購入する学生に対し購入費の一部を助成
- ②（新）自転車貸出事業（実施主体：西脇市 R6予算額：3,056千円）
通勤・通学定期券購入者へ自転車の無償貸出を行い、駅からの二次交通の確保につなげる。

実施期間 4月～

実施結果 利用者：①61名 ②12名



無償貸出自転車

【成果・課題】 ①昨年度に比べ利用者が18名増加した。自転車通学から電車通学へ変更した利用者もあり、好評を得ている。
 ②利用者からは非常に助かると好評を得ている。より多くの方に有効に利用いただけるよう更なる周知が必要

【今後の展開】 ①引き続き同制度を継続するとともに、通勤定期券購入者などへの支援を検討し、鉄道の日常利用を促進する。
 ②通勤定期券購入者など鉄道利用者で2次交通が必要な方に貸し出し範囲を広げるよう検討を進める。

3 加古川線利用助成事業（新）

日常利用の促進

観光需要の増加

【概要】

事業内容

- ①社会学習利用助成・・・学校園等が加古川線を利用して行う社会学習活動に対し運賃を助成
- ②団体利用助成・・・5名以上の団体利用に対し運賃を助成

実施主体 西脇市、丹波市（R6予算額：①550千円、②800千円）

実施期間 4月～

実施結果 利用者:①小学校3校（180名）、中学校2校（212名）こども園1園（28名）
②24団体（379名）



黒田庄中の全校生徒による遠足利用

【成果・課題】 沿線の学校園や一般の団体で補助制度を利用した鉄道利用を進めることができた。今後、この地域で活動の幅を広げていく若い世代や、一般の方のJR加古川線への愛着を育むため、より多くの方に制度を利用してもらうことが必要。

【今後の展開】 引き続き、多くの方に鉄道を利用してもらうため周知を進めるとともに、より利用しやすい制度となるよう検討を進める。

4 地元自治会等と連携したリレーマルシェ等駅周辺イベントの開催

日常利用の促進

観光需要の増加

【概要】

事業内容 駅周辺での賑わい創出、加古川線の利用促進を目指し、地元自治会、高校生等と連携したマルシェなどを開催（R6予算額：3,779千円ほか）

実施結果

- ①久下村夜市〔実施主体：久下自治振興会、丹波県民局〕
 - ・8/22開催、参加者約900名、うち加古川線利用者約270名
 - ・3/7～9開催、参加者1,115名、うち加古川線利用者186名
- ②JR加古川線カルチャー&フェスティバル〔実施主体：北播磨県民局、協力：西脇高校、氷上高校〕
 - ・10/20開催、参加者約4,100名 ※うち加古川線利用者82名 ※参加者数はでんくうまつり等他連携イベントの総人数
- ③比也野まつり〔実施主体：比延地区自治協議会、北播磨県民局〕
 - ・11/3開催、参加者約1,700名、うち加古川線利用者80名
- ④あつまっ亭感謝祭〔実施主体：JR加古川線（西脇市駅－谷川駅）維持・利用促進地域協議会、黒田庄まちづくり協議会〕
 - ・11/24開催、参加者約450名、うち加古川線利用者80名



久下村夜市

【成果・課題】 地域と連携することで、地域住民をはじめ、多くの方に参加してもらうことができた。さらなる地元意識の醸成につながるよう多くの住民をまきこんだ取組が必要。

【今後の展開】 地元意識を醸成し、地元住民等の発意による主体的な賑わいづくりにつなげていく。

5 地元高校生デザインの播州織中づくり広告による鉄道利用促進

日常利用の促進

観光需要の増加

【概要】

事業内容 県立西脇高校の生徒がデザインした播州織中づくり広告の車内掲示による鉄道利用の呼びかけ

実施主体 西脇市、北播磨県民局（協力：西脇高校、繊維工業技術支援センター）（R6予算400千円）

実施結果

沿線の県立西脇高校の生徒、県立繊維工業技術支援センターの協力により、100周年のキャッチフレーズや駅名称、市のマスコットキャラクター“にっしー”（西脇市），“ちーたん”（丹波市）がデザインされた播州織中づくり広告を作成。昨年作成した播州織中づくり広告とともに、JR加古川線全車両内に掲示した。（1車両に2列）
（期間：11.28~12.11）



播州織中づくり広告

【成果】 地元の高中生デザインの播州織を織り上げるという話題性が功を奏し、新聞でも紹介されるなど広く加古川線をプロモーションすることができた。中には入手したいという問い合わせもあった。

【今後の展開】 わが町考え隊（hcc）や播州織生産者と連携し、播州織の手ぬぐいなどの開発を進め、加古川線と播州織を絡めた広報戦略につなげる。（2/9のマルトリエにおいて、播州織手ぬぐいの数量限定販売を実施。）

6 加古川線プロモーション動画放映、ポスター掲出（新）

観光需要の増加

【概要】

事業内容 西脇市、丹波市の特産品やお出かけスポットを紹介する広告を京阪神エリアの駅や車内で実施。

実施主体 JR西日本、西脇市、丹波市

実施期間 令和6年12月16日～令和7年1月31日

- 実施結果**
- ・京阪神エリア各駅（254駅）でのポスター掲出（706枚）
 - ・JR神戸線、JR京都線、JR宝塚線等でのWESTビジョン放映※1と中づくり広告掲出
 - ・大阪駅、三ノ宮駅でのJ・ADビジョンWESTの放映※2

※1 WESTビジョン：列車搭載型デジタルサイネージ

※2 J・ADビジョンWEST：駅構内の改札付近に設置されるデジタルサイネージ



新快速車内中づくり広告



大阪駅のJ・ADビジョンWEST

【成果】 駅や車内で通行人にPRできた。その他、市役所やウイング神姫のバス車内でも掲出。

【今後の展開】 引き続き沿線地域の魅力を発信し、大阪・関西万博期間中の観光需要増加に繋げる。

7 神戸新聞特集記事（新）

日常利用の促進

観光需要の増加

【概要】

事業内容 全線開業100周年を迎える加古川線の歴史やその現状について発信する神戸新聞の特集記事。
加古川線の運行を支える社員へのインタビューや三上公也アナウンサーと兵庫支社長の対談を実施。

実施主体 JR西日本

- 実施結果**
- ①「産業、生活支え 地域と歩む」（10月19日掲載）
 - ②「安全運行へ鉄道員奮闘」（11月17日掲載）
 - ③「持続可能な未来へ模索」（12月22日掲載）

【成果・課題】 読者からは「加古川線100周年を初めて知った」、「一度乗ってみたい」などの反響があった。

【今後の展開】 沿線住民に対して加古川線の情報発信をして、気運醸成に繋げる。



8 加古川線全線開業100周年記念事業（新）

観光需要の増加

【概要】

事業内容 1924年（大正13年）12月27日に野村駅（現・西脇市駅）～谷川駅間が開業して100周年になることを記念し、記念セレモニーやライブ&トークショー、ラッピング列車の運行、記念グッズ作成等を実施。また、加古川線（西脇市-谷川間）全線開業100周年記念事業実行委員会を立ち上げるなど、市・県・JRが一体となって利用促進に取り組んだ。

実施主体

＜西脇市・丹波市＞（R6予算：6,600千円）

- ①記念セレモニー（7/7、参加者650名〔うち鉄道利用者77名〕）
 - ・西脇市駅での出発式
 - ・俳優 六角精児さんのライブ&トークショー（オリナスにて）

②車両ラッピング（R6.7.7～R7.2月末頃）

③LINE謎解きゲーム「ジェリークエスト」（R6.11.9～R7.1.31、参加者418名）

＜JR西日本＞

①オリジナル商品、ノベルティ作成

②100周年記念イベント開催（12/27、参加者約300名〔鉄道利用者約200名〕）

- ・斉藤雪乃さん一日駅長就任、餅まき、ジャンケン大会、記念乗車証の配付等

＜加古川線（西脇市～谷川間）全線開業100周年記念事業実行委員会＞（R6予算：9,900千円）

①特設サイトやメッセージ動画作成、イベント出店、インフルエンサーによるSNS発信、神戸新聞への特集記事や広告の掲載、播州織ハンカチ、ノート等記念グッズ作成

②全線開業100周年記念歴史年表作成と掲示



100周年メッセージ動画



12/27 100周年記念イベント

【成果・課題】 100周年の記念セレモニー、車両ラッピング、ロゴマークやキャッチフレーズ等により、100周年をPRし、市・県・JRが連携して利用促進を図った。また多くの方にJR加古川線の存在を知っていただく契機となったが、まだまだ知らない人が多く、更なる取組が必要

【今後の展開】 100周年記念事業で加古川線のことを広く周知することができた。これを契機に、引き続き、JR加古川線（西脇市～谷川間）の情報発信、気運醸成を行っていく。

令和6年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
<p>【新】 JR加古川線(西脇市駅-谷川駅)維持・利用促進地域協議会の発足</p> <p>(実施結果・今後の展開等)</p>	<p>沿線地域住民が中心となり、住民への鉄道利用の呼びかけ、鉄道利用促進事業等を行う地域組織を発足</p> <p>【実施結果】 6/30 設立会の開催、8/20 横断幕の作成、JR加古川線リニューアル(8/22、3/7久下村夜市、11/3 比也野まつり) 出店、11/24「あつまっ亭感謝祭」の開催、JR加古川線利用啓発チラシの作成・配布等</p> <p>【成果・課題】 組織設立を契機に地元への利用促進活動を推進した。沿線の交通要所など9カ所に鉄道利用を呼び掛ける横断幕を掲出するとともに各地域において鉄道利用促進イベントを実施。沿線住民の意識醸成につながる継続した活動・取組が必要。</p> <p>【今後の展開】 構成する3地域の相互連携を深め、継続的に住民への呼びかけや利用促進に係る取組を進めていく。</p>	1,000千円	JR加古川線(西脇市駅ー谷川駅)維持・利用促進地域協議会	●	●	
<p>【拡】 通学定期券購入補助と通学定期券購入者自転車貸出事業</p>	<p>①定期券購入補助 通学定期券を購入する学生に対し購入費の一部を助成</p> <p>②自転車貸出事業(新) 通勤・通学定期券購入者へ自転車の無償貸出を行い、駅からの二次交通の確保につなげる。</p>	①1,582千円 ②3,056千円	①西脇市・丹波市 ②西脇市			
<p>(実施結果・今後の展開等)</p>	<p>【実施結果】 利用者①61名 ②12名 【期間】 4月～</p> <p>【成果・課題】 ①昨年度に比べ利用者が増加。自転車通学から電車通学へ変更した利用者もあり、好評を得ている。 ②利用者からは非常に助かると好評を得ている。より多くの方に有効に利用いただけるよう更なる周知が必要</p> <p>【今後の展開】 ①引き続き同制度を継続するとともに、通勤定期券購入者などへの支援を検討し、鉄道の日常利用を促進する。 ②通勤定期券購入者など鉄道利用者で2次交通が必要な方に貸し出し範囲を広げるよう検討を進める。</p>			●		

令和6年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】加古川線利用助成事業	①社会学習利用助成 学校園等が加古川線を利用して行う社会学習活動に対し運賃を助成 ②団体利用助成 団体利用する場合の運賃を助成	①550千円 ②800千円	西脇市・丹波市			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 利用者 ①420名 ②379名 【期間】 4月～ 【成果・課題】 沿線の学校園や一般の団体で補助制度を利用した鉄道利用を進めることができた。今後、この地域で活動の幅を広げていく若い世代や一般の方のJR加古川線への愛着を育むため、より多くの方に制度を利用してもらうことが必要。 【今後の展開】 引き続き、多くの方に鉄道を利用してもらうため周知を進めるとともに、より利用しやすい制度となるよう検討を進める。			●	●	
地元自治会等と連携したリレーマルシェ等駅周辺イベントの開催	駅周辺での賑わい創出、加古川線の利用促進を目指し、地元自治会、高校生等と連携したマルシェなどを開催	3,779千円 ほか	地元自治会、県民局等			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 久下村夜市、加古川線カルチャー&フェスティバル等を開催 【成果・課題】 地域と連携することで、地域住民をはじめ、多くの方に参加してもらうことができた。さらなる地元意識の醸成につながるよう多くの住民をまきこんだ取組が必要。 【今後の展開】 地元意識を醸成し、地元住民等の発意による主体的な賑わいづくりにつなげていく。			●	●	
わが町考え隊事業の推進	hesocityclub代表 堀井氏を中心に、地域活性化策を展開。SNSによる情報発信、各種イベントへの参画やマルシェの開催等	700千円	北播磨県民局 hesocityclub(hcc)			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 リバーサイド楽市への出店（5/12、10/20） マルトリエの開催（2/9、参加者約300名）、SNS等情報発信 【期間】 4月1日～3月31日 【成果】 地域外の高校生や、大学生の活動参加者も出てきており、徐々にではあるが、特に若者へ活動が浸透しつつある。 【今後の展開】 若者や地域住民を巻き込んだ鉄道利用につながるような取組の実施			●	●	

令和6年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
地元高校生デザインの播州織中づくり広告による鉄道利用促進 (実施結果・今後の展開等)	県立西脇高校の生徒がデザインした播州織中づくり広告の車内掲示による鉄道利用の呼びかけ 【実施結果】 沿線の県立西脇高校の生徒、県立繊維工業技術支援センターの協力により、100周年のキャッチフレーズや駅名称、市のマスコットキャラクター“にっしー”（西脇市）、“ちーたん”（丹波市）がデザインされた播州織中づくり広告を作成。昨年作成した播州織中づくり広告とともに、JR加古川線全車両内に掲示した。 【期間】 11.28～12.11 【成果】 地元の高校生デザインの播州織を織り上げるといった話題性が功を奏し、新聞でも紹介されるなど広く加古川線をプロモーションすることができた。中には入手したいという問い合わせもあった。 【今後の展開】 わが町考え隊（hcc）や播州織生産者と連携し、播州織の手ぬぐいなどの開発を進め、加古川線と播州織を絡めた広報戦略につなげる。（2/9のマルトリエにおいて、播州織手ぬぐいの数量限定販売を実施。）	400千円	西脇市、北播磨県民局	●	●	
【新】加古川線プロモーション動画放映、ポスター掲出 (実施結果・今後の展開等)	西脇市、丹波市の特産品やお出かけスポットを紹介する広告を近畿地方の駅や車内で実施。 【実施結果】 ・京阪神エリア各駅でのポスター掲出 ・JR神戸線、JR京都線、JR宝塚線等でのWESTビジョン放映と中づくり広告掲出 ・大阪駅、三ノ宮駅でのJ・ADビジョンWESTの放映 【期間】 12.16～1.31 【成果】 駅や車内で通行人にPRできた。その他、市役所やウイング神姫のバス車内でも掲出。 【今後の展開】 引き続き沿線地域の魅力を発信し、大阪・関西万博期間中の観光需要増加に繋げる。	—	JR西日本・西脇市・丹波市		●	

令和6年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
【新】神戸新聞特集記事	全線開業100周年を迎える加古川線の歴史やその現状について発信する神戸新聞の特集記事。加古川線の運行を支える社員へのインタビューや三上公也アナウンサーと兵庫支社長の対談を実施。	-	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 ①「産業、生活支え 地域と歩む」（10月19日掲載） ②「安全運行へ鉄道員奮闘」（11月17日掲載） ③「持続可能な未来へ模索」（12月22日掲載） 【成果】 読者からは「加古川線100周年を初めて知った」、「一度乗ってみたい」などの反響があった。 【今後の展開】 沿線住民に対して加古川線の情報発信をして、気運醸成に繋げる。			●	●	
【新】加古川線全線開業100周年記念事業	市・県・JRが一体となって加古川線全線開業100周年記念事業を実施	16,500千円 ほか	市・県・JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 100周年記念セレモニー、記念イベント等を実施 【成果・課題】 100周年の記念セレモニー、車両ラッピング、ロゴマークやキャッチフレーズ等により100周年をPRし、市・県・JRが連携して利用促進を図った。また多くの方にJR加古川線の存在を知っていただく契機となったが、まだまだ知らない人が多く、更なる取組が必要。 【今後の展開】 100周年記念事業で加古川線のことを広く周知できた。これを契機に、引き続き、JR加古川線（西脇市～谷川間）の情報発信、気運醸成を行っていく。				●	
兵庫DCアフターキャンペーン	JR西日本と自治体、地元観光業者、旅行会社等が一体となった観光キャンペーン	-	JR西日本、兵庫県、沿線自治体			
(実施結果・今後の展開等)	【期間】 7月1日～9月30日 【成果・課題】 デジタルパスの販売など、JR西日本エリアでの広域的なキャンペーン展開を実施。				●	

令和6年度の取組結果（一覧）

資料 1

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】 駅周辺の活性化に向けた地域団体等との連携	駅周辺イベントと連携した利用促進事業の実施	-	北播磨・丹波県民局 西脇市・丹波市			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】</p> ①「リバーサイド楽市（日本へそ公園駅）主催：tamaki niime」、「サン・マルシェ（谷川駅）主催：サ・マルシェ実行委員会」と連携し、加古川線利用者にノベルティを配布（5/12 来場者約1,600人、うち鉄道利用者289人） ②「リバーサイド楽市」、「でんくうまつり」と連携し、「JR加古川線カルチャー＆フェスティバル」を合同開催。（10/20来場者約4,100人、うち鉄道利用者82人） <p>【成果】</p> 地元団体に加古川線利用促進の趣旨を理解してもらい、連携を図ることで、地域住民の鉄道利用の気運を醸成した。他団体との協力により一層のイベント周知を図ることができた。 <p>【今後の展開】 引き続き他団体イベントと連携した取組を行う。</p>			●		
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業（県・市町協調事業）	「JRローカル線駅周辺活性化モデル事業」において、駅周辺の賑わい等を生み出す新たな取組を行う事業者等を対象に、事業費の一部を補助（補助率1/2、上限200千円）	200千円 兵庫県、西脇市、 × 2 件 丹波市				
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 レンタサイクル事業 2 件①比延地区自治協議会、②久下自治振興会） 利用台数 ① 3 台 ② 10 台</p> <p>【今後の展開】 既に導入している黒田庄地区と、3 地区連携レンタサイクル事業の実施検討</p>			●	●	
ふるさと納税返礼品（西脇市駅 1 日駅長体験プラン）	加古川線全線開業100周年を記念して、西脇市のふるさと納税返礼品として「西脇市駅 1 日駅長体験プラン」を100万円で出品	-	西脇市、JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【期間】 2月14日～15日、23日～24日</p> <p>【成果・課題】 新聞やネットメディアで取り上げられ話題となったが、申し込み応募は無かった。</p>			●		

令和6年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
駅待合室に本貸し出しコーナー設置 （ちーたん文庫の開設）	地元の方の発案で、JR谷川駅の待合室に図書コーナーを開設。図書は有志からの寄贈で図書の管理も地元で実施。	—	久下自治振興会、丹波市、JR西日本	●	●	●
（実施結果・今後の展開等）	【期間】 7月8日～ 【成果】 図書数約300冊。幅広いジャンルの図書が揃っており「駅で待ち時間が楽しくなった」などの声が広がっている。					
【新】特急列車を谷川駅に臨時停車 する実証実験	<ul style="list-style-type: none"> ・谷川駅で対向列車の待ち合わせのために停車している一部の特急こうのとりに、乗り降りできるように取り扱いを変更 ・加古川線から乗り換えいただける特急列車を増やすことで、加古川線（西脇市～谷川駅）の利用が増加するかどうか検証 	—	JR西日本	●	●	
（実施結果・今後の展開等）	【実施結果】 上下6本の臨時停車を実施 【期間】 令和6年7月1日～令和7年2月28日					
観光情報誌「西Navi」を通じた地域の イベント情報の発信	JR西日本全エリアの駅に配架されている「西Navi」を通じて、地域のイベント情報を発信	—	JR西日本			
（実施結果・今後の展開等）	【期間】 通年 【実施内容】 下記イベント内容を掲載 1月「新春 アピカ名画座「上を向いて歩こう」@西脇市立音楽ホール 2月「第4回ミュージックベル・トーンチャイム全国コンテスト」@Orinas 【今後の展開】 今後も地域から頂いたイベント情報を掲載していく。				●	

令和6年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
JR西日本アプリ「WESTER」を活用した沿線情報の集約・発信	沿線でのイベント情報等を、JR西日本アプリ「WESTER」のおでかけ情報に掲載し、誘客を促進	－	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【期間】 通年</p> <p>【実施状況・課題】 加古川線リレーマルシェ「比也野まつり」等イベント情報を掲載（西脇市）スポット7件、イベント6件（丹波市）スポット7件、イベント6件を掲載</p> <p>【今後の展開】 JR西日本としては引き続き、イベント等を通じて、「WESTER」の新規ダウンロード数を増やせるよう努める。</p>				●	
コミュニティバス（おりひめバス）のダイヤ改正	始発バスの出発時刻を早めて、渋滞などによる到着時刻の遅れを少なくし、乗り換えをスムーズにして、高校生等の利用を促進	－	ウイング神姫			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【実施結果】 加古川線のダイヤに合わせて毎日運行。利用者数は1日平均3名</p> <p>【期間】 4月1日～</p> <p>【成果】 バスのダイヤ調整により使いやすくなり、利用者が増加した。</p> <p>【今後の展開】 通学などに有効に利用してもらえるよう周知を進める。</p>			●		
会員企業等へ鉄道利用の呼びかけ	HP等を活用し、会員企業等へ通勤、出張時等での鉄道利用を呼びかけ利用を促進	－	西脇商工会議所、丹波市商工会			
(実施結果・今後の展開等)	<p>【期間】 常時</p> <p>【実施内容】 ホームページ等を活用した会員企業への利用促進の呼びかけ</p>			●		

令和6年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
参考：JR加古川線・神戸電鉄粟生線・北条鉄道利用促進協議会事業						
列車内鉄道絵画展	県内の園児・児童を対象に列車や駅をテーマにした絵画を募集し列車内絵画展を開催	－	交通事業者、商工会議所、市町、県			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 応募769点(うちJR287点)、入賞者14名 鉄道事業者の協力のもと、列車内に作品を展示し、本人、家族等の鉄道利用が図られた。 【今後の展開】 継続して実施予定				●	
鉄道沿線ガイドの作成	鉄道沿線で開催されるイベント等の魅力情報を掲載したガイドの発行	－	交通事業者、商工会議所、市町、県			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 発行年4回（季刊）				●	
加古川線全線開業100周年 鉄道施設見学会 「JR加古川線 厄神車両基地見学会」	例年、鉄道の良さや魅力を再発見してもらうことで、地域鉄道のファンを獲得し、利用促進につなげるため実施している車両基地見学会において100周年記念として「本物のヘッドマーク抽選会」を実施するなど、特別企画を実施	－	交通事業者、商工会議所、市町、県			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 55組185名 参加 【期間】 11月17日 【実施内容】 車両洗浄見学、レールカート乗車、鉄道模型(Nゲージ)の操作、車内放送体験、100周年記念抽選会、マスコットキャラクター大集合など実施 【今後の展開】 継続して実施予定				●	

令和6年度の取組結果（一覧）

資料 1

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
参考：丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会事業						
モバイルスタンプラリー	久下村駅などの加古川線沿線等を含めた恐竜化石及び篠山層群ゆかりの地をめぐるモバイルスタンプラリーの実施	－	自治体、商工会、観光協会、民間団体等			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 ラリー参加数412名、抽選者数205名、久下村駅スタンプ数46個 【期間】 11月1日～30日 【成果】 安定した人気のある取組であり、継続的に実施していく。 【今後の展開】 更なる参加者増を図っていく必要がある。				●	
恐竜化石&里山体験ツアー【新】	久下村駅を発着点として、恐竜化石発掘現場での学びや里山の環境保全体験ツアーを実施	－	自治体、商工会、観光協会、民間団体等			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 参加者24名 【期間】 7月25日 【成果】 1日のみ実施であるが、JR加古川線の利用に繋がった。 【今後の展開】 継続実施するには利用人員増となる取組が必要である。				●	
グリーンスローモビリティの試験運行の実施	JR加古川線利用者の利便向上を図るため、久下村駅と丹波竜化石工房「ちーたんの館」間で二次交通手段として、グリーンスローモビリティを試験的に運行	－	自治体、商工会、観光協会、民間団体等			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 利用者数102名 【期間】 9月14日～9月16日 【成果・課題】 最大運行人員が6名と限定され、走行スピードも遅いため、輸送手段としては活用しにくい面はあるが、人目を惹く形状であり、乗りたいという声は多くあった。 【今後の展開】 ちーたんの館以外の恐竜スポットと鉄道駅のルートとして、周遊促進を目指す。				●	●